

笑顔かがやく光っ子

みんなで育てる光っ子

学校便り

第291号
平成24年1月10日

練馬区立光が丘第八小学校
校長 鈴木 隆志

「絆」を深める一年に

校長 鈴木 隆志

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

冬休み前の児童朝会で、一年間を振り返り、新しい年に向けて目標をもとうという話をしました。『一年の計は元旦にあり』と言います。物事は初めの計画や準備が大切であり、一年の計画は年の初めの元旦に立てるとよいということです。光っ子たちは、どんな目標を立てたのでしょうか。

光っ子たちには、「絆」を深める一年であってほしいと願っています。光っ子たち同士の絆、子供と教師との絆、学校の職員同士の絆、保護者・地域と学校との絆、「絆」の一つ一つを大事にして、笑顔かがやく光っ子をみんなで育てていきます。

◆土曜授業の実施と平成24年度の教育活動について

練馬区教育委員会では、新学習指導要領の全面实施を受け、その趣旨に基づき児童・生徒の確かな学力の定着・向上等に向け、平成24年度から振替休業日を設定しない土曜授業を全小中学校で実施することとなりました。6月から2月まで（8月を除く）の第二土曜日を、午前授業（給食なし）とします。また、これに伴い、夏季休業日短縮が廃止され、夏季休業日は8月31日までとなります。

改善策の背景には、確実な授業時数を確保するということがあります。今年度から全面实施された新学習指導要領では、1・2年生で週2コマ、3～6年生で週1コマ分の授業時数増となりました。本校では、平成21年度から段階的に週授業時数を増やし、対応をしてきました。平成24年度に向けて、確実な授業時数を確保しながら、「絆」を深めていけるように、心を込めた教育活動を計画してまいります。

◆区民意識意向調査の結果から

平成23年度区民意識意向調査の結果が、練馬区のホームページで公表されています。その中から「学校教育に望むこと」を見ると、「練馬区の児童・生徒がどのような児童・生徒になれば良いと思いますか。」に対しては、「思いやりがある」(66.8%)と最も高く、次いで「道徳心がある」(49.4%)、「人の話を聞ける」(34.7%)、「自立心がある」(31.4%)、「思いや考えを言える」(30.8%)、「創造力がある」(20.8%)、「体力がある」(16.0%)、「学力が高い」(14.3%)の順でした。また、「練馬区はどのような教育活動に力を入れる必要があると思いますか。」に対しては、「命を大切にする、人権教育や道徳教育の充実」(55.1%)、「基礎基本の学力の充実」、「思考力・判断力・表現力の充実」(ともに54.8%)が5割半ばと多く、次いで「応用力をつける教育の充実」(25.4%)、「健康の維持促進や体力の向上を図る教育の充実」(23.9%)、「自然を大切にするなどの環境教育の充実」(19.1%)、「9年間を通しての小中一貫・連携教育の充実」(8.4%)、「日本や練馬区の伝統文化を理解し、尊重する心の育成」(7.1%)の順となっています。

本校では、こうした区民の願いに応える教育活動を展開してまいります。そして、本調査にもある望ましい教師像としての、「授業をしっかりと分かりやすく教える教師」、「児童・生徒の良い面・得意な面を伸ばす教師」、「児童・生徒の状況をしっかりと把握する教師」、「児童・生徒の話をきちんと聞ける教師」、「児童・生徒に公平に接する教師」、「児童・生徒の生活態度をしっかりと指導する教師」となるよう、努力を続けてまいります。これまでに引き続き、温かい御支援、御協力をよろしくお願いいたします。